

平成27年度運営基本方針

昨年の9月27日に発生した御嶽山の噴火では死者行方不明者が戦後最大となり長野県民として決して忘れる事の出来ない天災となりました。また、11月22日には、白馬村を震源とした震度6弱の長野県神城断層地震が発生しました。この地震では白馬村から長野市にかけて多くの家屋の損壊など甚大な被害が発生しました。

幸いにもこの災害において、連盟に所属する選手や指導者にけが人などが全く出なかった事は安心いたしました。そのような中でファミリーマートカップの全国大会において長野県代表の小布施スポーツ少年団女子チームが見事に優勝という輝かしい成績を成し遂げてくれました。これは長野県のレベルの高さを改めて全国にしらしめてくれた事と称賛を送りたいと思います。

長野県小連の選手の数やチーム数がここ数年毎年のように減少しております。少子化など減少に結びつく原因はいろいろありますが、我々が行っているバレーボール競技は、練習や交流会などで子供たちの心身を鍛えるとともに我慢する心や協調性、勝利への執念や喜びなど小学生にとっていろいろと身に付くすばらしい競技であります。今よりもっと多くの子供たちにこのバレーボールを経験してもらうために、バレーボールの楽しさや喜びをもっと多くの子供たちにわれわれ一人ひとりが真正面から接して行きたいと思います。

また本年北信越小学生バレーボール大会が長野県内で行われます。役員の皆様をはじめ多くの指導者の皆様にご協力をいただき成功裏に大会が行われます事を願うものであります。

日小連からは体罰などの報告件数は今でも月に1.5件ほどあります。長野県内においてはこのような報告は現在全くありませんが、今後もこれを末永く維持して行きたいと思えます。